



THE SERVICE CLUB FOR THE YMCA

CHARTERED IN 2010

長野ワイズメンズクラブ

2020年

2月 第111号

THE Y'S MENDS CLUB OF NAGANO

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENDS CLUBS



2019~2020年2月18日年度主題

国際会長 Jennifer Jones(オーストラリア) “ Building today for a better tomorrow
「より良い明日のために今日を築く」

アジア太平洋地域会長 田中博之 (東京多摩みなみ) “ Action! ” 「アクション!」

東日本区理事 山田敏明 (十勝) 「勇気ある変革、愛ある行動!」

あずさ部長 赤羽美栄子 (松本) 「あなたの入会時の“ときめき”と多くの経験をワイズのために」

長野クラブ会長 森本俊子 「身近なつながりを大切にしよう」



今月の言葉

人にはそれぞれ分があるの。それは身分とかいうものと違うのよ。やれることはやる。助けたり、助けられたり、力をもらったり、あげたりかな。

(評論家 丸岡秀子先生)

2月例会

日時 2020年2月19日(水) 18:30pm~

会場 ふれあい福祉センター5階 504号室

1. 開会点鐘 会長
2. ワイズソング、ワイズの信条
3. 会長挨拶
4. ゲスト紹介
5. 報告、第二回評議会、被災地支援の
(実際について賛育会とぬくぬく亭)
次期会長選出について
6. 会員卓話 小泉一真 Y's
「被災後の復興活動などについて」
7. 食事しながら
フリートーク
8. ニコニコ献金
9. 閉会点鐘 会長

TOFについて 森本俊子

TOFはワイズメンズクラブの代表的な国際事業で、Time of Fastの略号です。訳せば「断食の時」となりますが、1972年から始まった活動だそうです。例会や家庭で、一食分を抜き、食事也十分にとれない人々のことを思いつつ、その金額分を寄付する活動です。開始から今までに、約700万米ドル(7億7千万円)の献金が寄せられ、世界各地の救貧、識字率向上、衛生環境改良、授産等のプロジェクトに用いられました。昨年度は合計約13万ドル(約1400万円)の献金が捧げられ、東西日本区からは約2万5千ドル(約280万円)が贈られました。支援プロジェクトは各ワイズメンズクラブやYMCAから公募され、国際議会で決定されます。今年度新たに支援プロジェクトに選ばれたのはセネガルの農業技術訓練所開設、カンボジアのアフタースクール設置、ジャマイカのユース寮建設など9件でした。2016年以降、各TOFプロジェクトは国連のSDGs(持続可能な開発目標)の17分野のうち最低一つの分野にかかわりがあることが求められているのだそうです。(これらのことは、田中博之(東京多摩みなみクラブ)アジア太平洋地域会長が東京西クラブの2月号ブリテンに寄稿された情報から転載させていただきました。)

1月のデータ

在籍会員	9名
例会出席者	6名 (66%)
ビジター	1名
ゲスト	5名

例会のご案内

毎月第3水曜日 2020年2月19日(水)
18時30分
ところ ふれあい福祉センター
連絡先 会長または書記へ
tokoton921@gmail.com (森本会長)
koba31819@icloud.com (小林書記)

会長	森本俊子
副会長	福島貴和
書記	小林美彦
会計	倉石美津子
ブリテン	堀内雅俊
担当主事	露木淳司

1月の例会報告

出席者 勝田いつ子、倉石美津子、小林美彦、堀内雅俊、福島貴和、森本俊子

ビジター 大和田浩二さん（松本クラブ）

ゲスト 久保田恵子さん、長澤定人さん、賛育会職員3名

新年の会として、初めて昼間開催で行った。メンバーで参加できない人があったが、ゲストやビジターが参加されて、にぎやかな会となった。

賛育会の職員さん3名が、被災後の現況や、募金の相談など生の話をされた。募金は長野で普通にするのはなかなか難しいと思うという話が出たり、各地域の被害の実態や対策についても各自が知っていることを報告があった。長野クラブとしても支援するが、何が出来るかを話し合った。

第二回あずさ部 西早稲田評議会報告

2月8日（土）東京たんぽぽYクラブのホストにより東京YMCA山手コミュニティーセンターで開かれました。来年度の役員承認、事業報告、会計報告、今年度のCS助成金配分と評価をはじめ、年度の各事業主査報告が行われました。

長野クラブは特別に台風被災地支援プログラムとして、5万円を頂戴しました。全体で、20万円という会計の中からの配分です。大変ありがたくいただきました。

AYC活動報告として 藤井うららさん（山梨学院大生）がKIBOCHAという「遊びを通して学べる防災」プログラムの参加報告をしてくれました。今日からできるとしてワンアクションとして、プラごみの削減を願って、参加者は2年間ペットボトルを使わないと誓ったとのことでした。

No Plastic Bottles for 2 years

彼女は水筒持参でこの会に来ていましたが、ホストの配慮で、お茶は紙パックの物が配られました。

各クラブの活動報告も行いましたので、議事録をご覧ください。私は3月19日に東京墨田トリフォニーホールで開かれる「賛育会の支援コンサート」のPRを中心に行ってきました。西クラブさんからは例会日なので、行かれないが寄付をすと言っていました。

（写真は500円会費、お茶とお菓子の懇親会の様子と、赤羽部長の挨拶）



◎ロールバックマラリアの活動としての古切手収集にご協力ありがとうございました。

今回の収納はあずさ部全体で、9.27 kg (5737円) で長野クラブは1.269 kg (761円) でした。一番は富士五湖クラブの2.125 kgでした。800円で蚊の忌避剤付き蚊帳一張になります。

雪の降らなくなったスキー場～YMCA キャンプが子どもたちに伝えること

毎年恒例の冬休みスキーキャンプ。今回は長野県の戸隠に行く予定でした。なかなか寒くならない12月も20日過ぎになって、いまだにゲレンデには全く雪がないとのこと。このままでは戸隠ではスキーができない。急遽場所を変更することを決断。意外にも甲府から一時間以内で行ける八ヶ岳山麓の富士見高原が選ばれました。期間中には本物の雪も降って何とか事なきを得ました。年々雪不足の傾向が強まっていることは感じていましたが、ここまでひどかったのは過去に例を見ないことです。甲府の街にはいまだにまとまった雪が降りません。車の運転やお年寄りの暮らしなどのことを考えると喜ばしいことのような気がしますが、実はこのことは大変な環境問題にかかわる事態なのです。

このまま温暖化が進むとどうなるのか。持続可能な開発目標（SDGs）のことや、環境活動家の少女グレタ・トゥンベリさんの言動が度々ニュースになる昨今、改めて私たちの暮らしの在り方や、今後とるべき対策について考える必要を感じます。スキーキャンプでは夕べの集いの時間に、子どもたちと改めて気候変動について考える時間を持ちました。閉鎖されるスキー場が増えている話もあり、スキー好きの子どもたちにも、確かにこれは他人事じゃないんだな、と感ずることができたようでした。

他にも海洋汚染のこと、最近の台風や地震の異常発生のことなど、未来の地球を憂う問題は枚挙にいとまがありません。このことに気づいてアクションを起こしてくれるトゥンベリさんのような少女が、YMCA に集う仲間たちやキャンプに参加するメンバーの中から出てきてくれることを願います。過去を積み上げてきた責任ある大人の一人として、次世代を担う子どもたちに、真実への気づきのチャンス을 投げかけていく使命感を覚える今年の冬でした。

**これからの予定**

- 3月7日 次期会長研修会(中止、コロナの関連)
- 3月18日 例会
- 5月9日 甲府クラブ70周年記念例会、
第3回評議会
- 5月15日 賛育会支援コンサート
(ホクト中ホール)
- 6月6日 第23回東日本区大会
(ホテル日航ノースランド帯広)

クラブ費の振り込みをお願いします

ワイズ会費を払うことが、ワイズ活動のボランティア参加に直結しています。

今年度後期会費(1月～6月)18000円のお振り込みをお願いします。(1年分は36000円です)

八十二銀行 昭和通営業部番号 214)

普通預金 口座番号 871118

長野ワイズメンズクラブ会計

倉石美津子